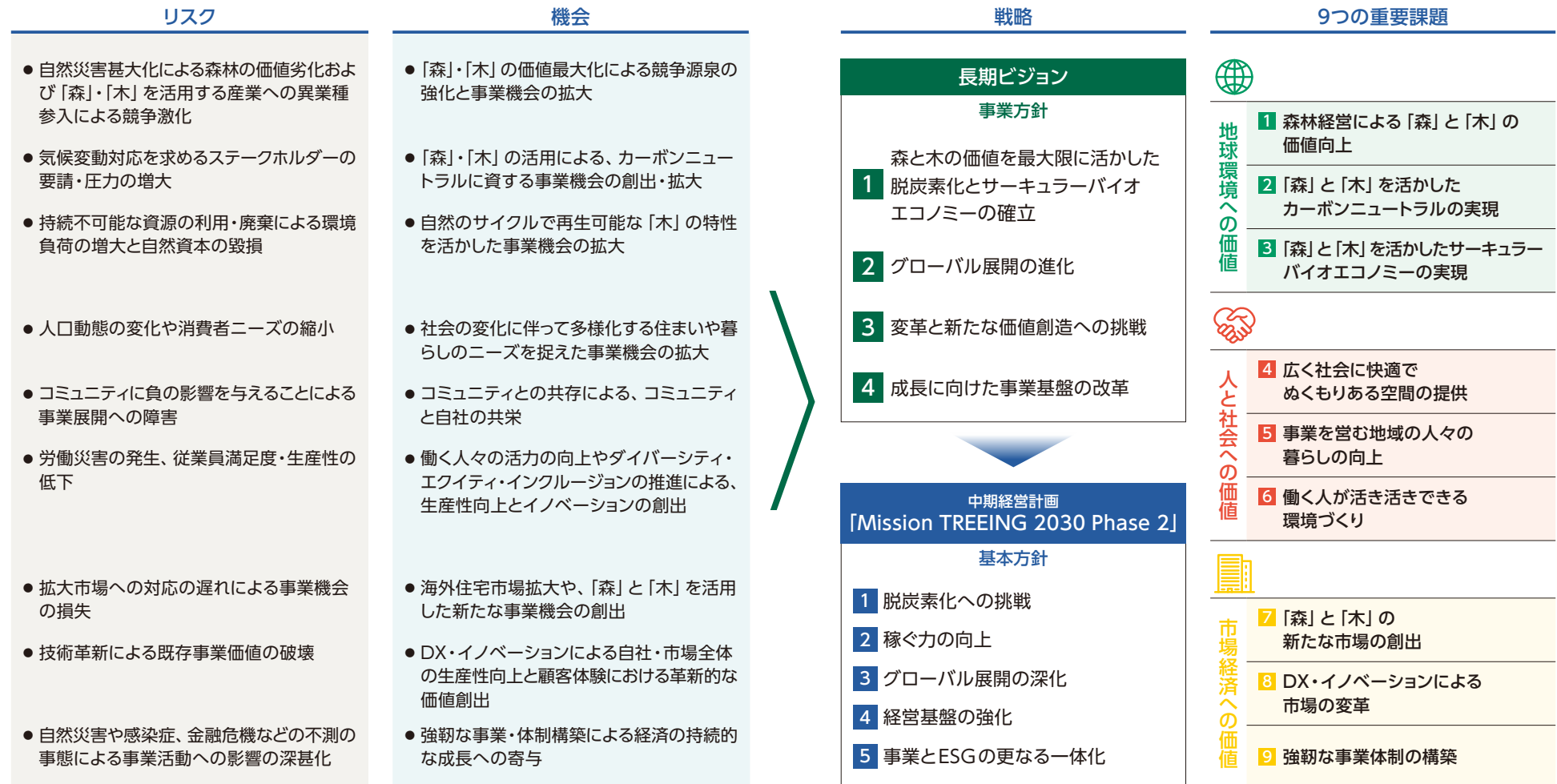


## 経営環境分析

### メガトレンド

気候変動・生物多様性保全／資源・エネルギー問題／価値観・ライフスタイル／人口動態・世帯動向／地方創生／人権の尊重／グローバル化の潮流／政治・経済情勢／デジタル化の進展

### 9つの重要課題の背景にあるリスク・機会



地球環境への価値



人と社会への価値



市場経済への価値

## 価値創造プロセス

## インプット

(2025年12月末時点)



## 自然資本

- エネルギー投入量: 9,799TJ
- 木材および木材製品の取扱量: 9,134千m<sup>3</sup>
- 水使用量: 2,895千m<sup>3</sup>
- 森林: 27.9万ha<sup>\*1</sup>

※1 国内、海外の保有・管理森林面積。森林ファンドおよび日本での再造林事業を除く。



## 製造資本

- 木質バイオマス発電所: 7拠点 (国内)
- 製造工場数 (木材建材): 5拠点 (国内)、9拠点 (海外)
- FITP事業<sup>\*2</sup>稼働済み工場数: 11拠点 (海外)

※2 パネル設計から、製造、配送、施工までを一貫して提供するFITP(Fully Integrated Turn key Provider)事業。



## 人的資本

- 連結従業員数: 27,613名 (うち海外13,369名)
- 社員一人当たりの研修費: 173千円 (単体)、43千円 (国内子会社)
- 1級建築士数: 1,078名 (単体)、387名 (国内子会社)
- 2級建築士数: 1,471名 (単体)、1,521名 (国内子会社)



## 知的資本

- 研究開発費: 2,760百万円



## 社会関係資本

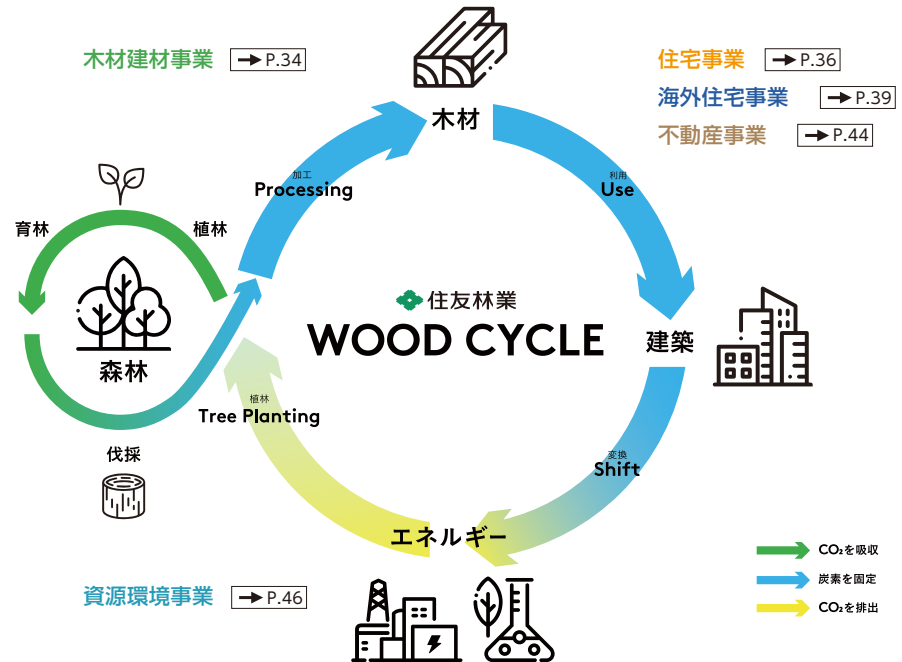
- 累計住宅販売戸数: 約37万棟 (国内)、約14万戸 (海外)



## 財務資本

- 株主資本: 7,628億円
- 有利子負債: 7,695億円
- 投融資: 1,545億円

## ビジネスモデル



## 「Mission TREEING 2030」達成に向けた事業方針

- 1 森と木の価値を最大限に活かした脱炭素化とサーキュラーバイオエコノミーの確立
- 2 グローバル展開の進化
- 3 変革と新たな価値創造への挑戦
- 4 成長に向けた事業基盤の改革

## 「ウッドサイクル」とは

森林経営から木材建材の製造・流通、木造建築、木質バイオマス発電まで、住友林業グループが提供する「木」を軸にした川上から川下までのバリューチェーンのこと。「森林」「木材」「建築」「エネルギー」の4つの分野で脱炭素事業を推進し、「ウッドサイクル」を回すことで、自社のみならず社会全体のCO<sub>2</sub>吸収、炭素固定を促し、脱炭素社会実現への貢献を目指している。

「ウッドサイクル」というバリューチェーン → P.7

## 価値創造プロセス

<https://sfc.jp/information/sustainability/management/materiality1.html>

## アウトプット

(2025年12月期)

保有・管理森林による出材<sup>※3</sup>

## 資源環境事業

→ P.46

国内

63千m<sup>3</sup>

海外

980千m<sup>3</sup>木材および木材製品の  
取扱量

## 木材建材事業

→ P.34

流通

6,094千m<sup>3</sup>

製造

1,773千m<sup>3</sup>

※3 国内、海外で保有・管理する森林による出材。森林ファンドおよび日本での再造林事業を除く。



年間住宅販売戸数

## 住宅事業

→ P.36

日本<sup>※4</sup>

8,727戸

## 海外住宅事業

→ P.39

米国<sup>※5</sup>

10,262戸

豪州<sup>※6</sup>

7,404戸

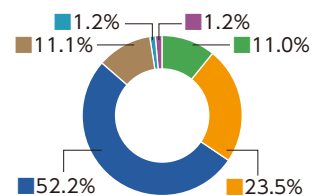
※4 戸建注文住宅・賃貸住宅・戸建分譲住宅の合計。

※5 戸建分譲住宅戸数。

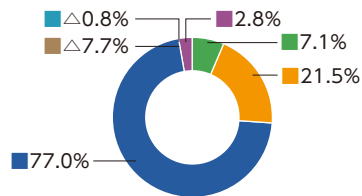
※6 戸建注文住宅・戸建分譲住宅の合計。

セグメント別構成比<sup>※7</sup> (2025年12月期)

売上高 2兆2,676億円



経常利益 1,749億円



■ 木材建材 ■ 住宅 ■ 海外住宅 ■ 不動産 ■ 資源環境 ■ その他

※7 セグメント別構成比の算出にあたり、グループ間取引などの調整額(売上高△425億円、経常利益△42億円)は除いています。

## インパクト(アウトカム)

(2025年12月期)



## 自然資本

## + 炭素固定量

- 森林<sup>※8</sup>: 6,533.4万t
- HWP<sup>※9</sup>: 2,734.1万t

※8 国内、海外で保有・管理する森林による炭素固定量。森林ファンドおよび日本での再造林事業を除く。

※9 HWP:Harvested Wood Productsの略。木を伐採して加工した木材製品を指す。それまで木が吸収したCO<sub>2</sub>を炭素として内部に固定する。

## + バイオマス発電量

- 電力供給量: 1,774,257MWh

## - 産業廃棄物の排出

- 新築現場の廃棄物等排出量(住宅事業): 26,687.0t

## - 温室効果ガス排出量

- スコープ1&2: 145,779t
- スコープ3: 1,122.0万t



## 製造資本

## + 環境負荷低減に貢献する住宅技術

- 新築戸建注文住宅におけるZEH受注比率: 81.3%
- LCCM住宅販売



## 人的資本

## + ワークライフバランスの向上

- 社員満足度: 81.0%(単体)、67.2%(国内子会社)
- 育休取得率(男性): 71.4%(単体)、49.0%(国内子会社)
- 育休復職率(女性): 100%(単体)
- 離職率: 2.2%(単体)

## + DEIの推進

- 女性従業員比率: 25.2%(単体)、33.9%(国内子会社)



## 知的資本

## + 木造建築の技術開発

- 防耐火・耐震などの要素技術
- 木材の高強度化・高耐久化

## + 木材の用途拡大

- 木材のバイオリファイナリー



## 社会関係資本

## + サプライチェーンにおけるサステナビリティ調達調査実施率

- 輸入木材製品仕入先におけるサステナビリティ調達調査実施率: 100%(木材建材事業)
- 建材・住宅設備メーカーなど仕入先へのサステナビリティ調達調査実施率: 98.2%(住宅事業)

## + 持続可能な木材および木材製品の調達

- 流通事業における持続可能な木材および木材製品の取扱比率: 100%(木材建材事業)
- 戸建住宅の主要構造材における持続可能木材使用率: 100%(住宅事業)

## + 顧客満足度向上への取り組み

- 入居時アンケート(単体NPS値)<sup>※10</sup>: 56.6pt



## 財務資本

## + 株主還元、格付&amp;持続的な成長

- 1株あたり年間配当額: 53円
- TSR(年率・過去1年): △6.1%(過去10年): 13.1%
- 長期格付: A+(格付投資情報センター(R&I))